

# 岡崎市民病院で8月1日(水)から セカンドオピニオン外来を開始

市民病院では、病気治療の選択や決定をサポートするためのセカンドオピニオン外来を開始します。

これは、市民病院以外で診療を受けているかたが、現在受けている治療方法や病気について、市民病院の医師から意見を聞く制度です。それにより、現在の主治医の診断や治療の妥当性を再認識し、納得して治療を受けることができたり、現在の主治医の提示する治療法以外の情報を得たりすることもあります。

ただし、セカンドオピニオン外来は、当院への転院や診療につながるものではありません。相談後は、現在通院中の医療機関で診療を受けていただきます。

## 対象者

市民病院以外の医療機関で「がん」などの治療を受けているかた。  
ただし、本人が来院できない場合は、原則、配偶者または1親等のかたで、本人の同意書が必要です。

## 申込方法・相談日

▼予約受付は8月1日(水)からです。  
受付時間 8時30分～16時

▼患者・家族・医療機関から「セカンドオピニオン希望」と申し出てください。

▼相談日は担当医師と調整のうえ連絡します(完全予約制)。

## 相談費用

30分までは1万5000円。以後30分までごとに5250円を加算した金額となります。

※健康保険の適用はありません。全額自己負担となります。

## その他

▼事前に主治医の診療情報提供書、画像情報、検査結果などが必要となります。

▼相談を担当する医師は、専門性を考慮して当院で決定します。

詳しくは病院ホームページで確認いただくか地域医療連携室へお問い合わせください。

地域医療連携室 公66 ◆ 7411

## 市長室

### ほっとライン



### 魅力ある東の玄関口へ

東海道五十三次、37番目の宿場町として栄えた藤川宿。史跡や松並木など市内随一の宿場景観を誇り、松尾芭蕉が「爰も三河 むらさき麦の かきつはた」を詠んだ場所としても有名です。そんな藤川の地に、人々が集う新しい施設が誕生します。

その一つ、東部地域交流センター「むらさきかん」は、いよいよ8月25日に開館します。市内4館目となり、市民の皆さんと共に考え、共に構想を練ってきた施設。東部地域における新たなふれ

あい・交流の場となるものと期待しています。

また、東部地域交流センターに隣接する道の駅「藤川宿」は、12月のオープンを目指して準備を進めています。国道1号沿いでは県内初となる道の駅で、館内には地場産業の紹介や観光案内を行う情報発信コーナーを始め、市内の特産品や地元産野菜などを販売するスペースもあります。また、大規模災害時は防災拠点としての役割を果たせるように、防災トイレや大型発電機などを備えると共に、国道沿いという立地を活かし、緊急物資の輸送や集積などにも利用していきます。

現代の宿場として新たに生まれ変わる藤川宿。一度訪れた人に何度も足を運んでもらえるような工夫を凝らし、市の東の玄関口として岡崎の魅力を全国に発信していきたいと思えます。

岡崎市長

柴田 紘一